

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 和楽の家 京山

目標達成計画

作成日：令和 5 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3 (4)	外部からの意見を取り入れやすくする工夫をしてはいかがでしょうか。	外部からの意見を取り入れ、運営やサービス向上に活かす。	運営推進会議を書面で開催するとしても、現状報告だけで終わるのではなく、書面に返信欄を設定する、電話で意見を頂く等、双方向の会議となるよう工夫する	12ヶ月
2	35 (13)	緊急時に対応する体制や連絡方法、地域との連携について再度見直しをしてはいかがでしょうか。	全職員が緊急時に対応できるようマニュアルを作成して、周知徹底を図る。地域との関係を密にして、緊急時の協力体制を構築する。	避難確保計画、緊急時具体的行動マニュアルの更新、BCPの整備、備蓄の準備と把握。地域の催し、集まり等にはできる限り参加して信頼関係を築く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。